

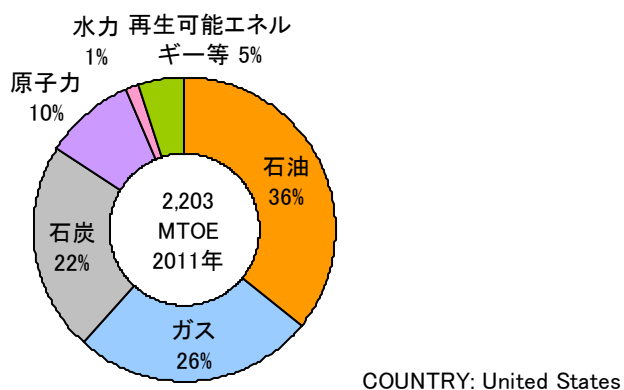
3-1 アメリカ

1. サマリー

1. エネルギー事情

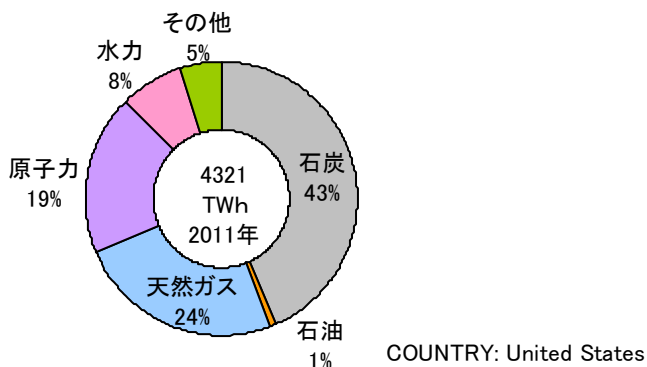
- (1) 一次エネルギー供給量 (2011年) : 2,203 百万 TOE (日本の 481%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2011年) : 7.03TOE/人 (日本の 195%)
- (3) エネルギー自給率 (2011年) : 81%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 5,369 百万 CO₂ ton (日本の 470%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 17.3CO₂ ton (日本の 193%)
- (6) 燃料別可採年数 (2011年末) : 原油 10.8年、天然ガス 13年、石炭 239年

一次エネルギー供給構成 (2011年)



(出所) IEA, Energy Balance of OECD Countries 2012

発電電力量構成 (2011年)



(出所) IEA, Energy Balance of OECD Countries 2012

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー省（長官は Steven Chu 氏）が化石エネルギー、電力、原子力(核廃棄物管理を含む)、エネルギー効率・再生可能エネルギー、科学(研究開発)、環境管理などの政策を実施している。付置機関である連邦エネルギー規制委員会(FERC)は石油、天然ガス、電力の州際取引の規制と、プロジェクトの環境面に関する監視を行っている。
- 法案の提出権は議員にあるため、政策立案は議会〔上院ではエネルギー・天然資源委員会（委員長は民主党・Oregon州選出 Ron Wyden）、下院ではエネルギー・商業委員会（委員長は共和党・Michigan州選出 Fred Upton）〕が担当する。

(2) 基本政策

- Obama 現政権は、省エネや再生可能エネルギーへの積極的投資を通じ、クリーンエネルギーの普及を通じた景気浮揚や非在来型石油・天然ガスの増産を通じた「エネルギー自立(energy independence)」の強化を目指している。
- 2011年頃からは、同政権発足時には「クリーンエネルギー」の範疇に明示されていなかった原子力やシェールガス増産による影響で増産される天然ガスも積極的に「クリーンエネルギー」として位置づけられるようになった。

(3) 最近の動向

- 2011年3月の福島第一原子力発電所事故後の3月30日、Obama 大統領はエネルギー戦略に関する演説を行い、引き続き新エネルギー・省エネルギー投資を推進するとともに、環境と調和したかたちでの国内石油・天然ガス開発を進める方針を明らかにした。
- 2012年8月、Obama 大統領は、産業界のエネルギー効率の向上とCO₂の排出量削減に向けて、国内のコージェネレーション数を2020年までに50%増やす大統領令に署名した。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日本は米国からLNG、石炭を輸入し、日本からは石油製品を輸出している。三菱商事・東京電力が1969年以降輸入してきたアラスカLNGは、2011年5月で基地の閉鎖が決定されたが、福島原発事故に伴うLNG需要増を受けて、同年8月まで輸出が延長された。
- 日本企業による、米国内のクリーンエネルギー分野やシェールガス開発関連事業への投資が増えつつある。
- シェールガス増産により、米国ではLNG輸出プロジェクトがいくつか計画されている。但し、対日輸出については、日本が米国とFTA未締結国であることが現時点ではボトルネックの一つとなっている。

2. 主要エネルギー指標

(2011 年)

(1)	一次エネルギー供給量	2,203	MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	7.03	TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.17	TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	81	%
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	5,369	百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	17.3	CO ₂ 換算 ton
(7)	エネルギー源別構成率	石炭	22 %
		石油	36 %
		天然ガス	26 %
		原子力	10 %
		水力	1 %
		再生可能エネルギー等	5 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	19	%
(9)	石油の輸入依存度	54	%
(10)	輸入原油の中東依存度	20.5	%
(11)	原油輸入先	第1位	カナダ (24.0%)
		第2位	メキシコ (12.0%)
		第3位	ベネズエラ (11.9%)

(出所) : (1)~(4) および (7)~(9) は IEA 「Energy Balances of OECD Countries 2012」

(5)~(6) は IEA 「CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2012」

(10)~(11) は IEA 「Oil Information 2012」